

【対象】 小学校 低学年	【資料名】 「ぼんたとかんた」
【内容項目】 1－(3) 「よくかんがえて」	【ねらい】 ○自分でよく考え、よいと思うことをしようとする態度を育てる。

【本時の展開】

	子どもの活動・反応	教師の支援・留意点
導 入	1. 「うらやまのひみつきち」について、イメージさせる。 ○「うらやまのひみつきち」と聞いて、どんな感じがしますか。」 ・ 暗い感じ ・ 人が少ない ・ あぶないところがある ・ わくわくする	
展 開	2. 「ぼんたとかんた」を読んで話し合う。 ○かんたから、うらやまに「ふたりでいこうよ。」といわれたぼんたは、どうしたでしょう。 ・ 「うらやまは、入ってはいけないと言われているよ。」と注意した。 ・ いっしょに行かなかった。 ○かんたがうらやまに入ってしまったってひとりになったぼんたは、どんなことを考えているでしょう。 ・ ぼくも、かんたのようにうらやまであそびたいな。 ・ でも、あぶないからがまんしないといけないな。 ・ かんたは入って行ってしまった。どうしよう。 ○「ぼくは、いけないよ。」といったとき、ぼんたはこころのなかでどんなことをかんがえたでしょう。 ・ ほんとうにあぶないとおもうから入っちゃだめだ。 ・ してはいけないと言われていることだからはいらないでおこう。 ・ きまりをやぶってはいりたくない。 ○うらやまに入らなかったぼんたとかんたは、なかよくブランコにゆられながら、どんなことを話しているでしょう。 ・ きまりを守ってよかったね。 ・ きけんだから入ったらだめだね。 ・ ぼんたくんのおかげで、ぼくもちゃんとがまんできたよ。 ・ じぶんで考えて決めたらきもちいいね。	・ 紙芝居形式で読み聞かせる。 ・ さし絵①を貼る。 ぼんたの置かれた状況を確認させる。 ・ さし絵②を貼る。 ・ 自分だったらどんな気持ちになるか想像させる。 ・ さし絵③ ・ ワークシートの吹き出しに書かせる。 ・ なぜ「いけないよ。」と言ったのかを考えさせる。 ・ 全体場で発表したり、友だちの意見を聞いたりして考えを深めさせる。 ・ さし絵④ ・ ぼんたとかんたが気持ちがいいことに気づかせる。 【にっこり・なかよく・きもちのよいかぜ】 ・ なぜ、きもちがいいのか考えさせる。
終 末	3. 今日の学習の感想を発表する。	

ぽんたとかんた 1ねん なまえ（ ）

◎「ぼくは、いかないよ。」といったとき、ぽんたはこころのなかでどんなことをかんがえたでしょう。



A large, rounded rectangular box with a black outline, containing five vertical dotted lines for writing. The box is positioned to the right of the illustration of Ponta.